

大雨で被災した市道や農地等の早期復旧を



まえしま ひろし
前島 広紀 議員

問 令和7年8月の大雨により被災した市道や農地等の災害復旧状況はどうか。

答 道路災害34件、農地災害149件、農業用施設災害55件で、令和7年12月までに国の災害査定を終了し、本格的な災害復旧工事を速やかに進めるために、工事発注を順次行っている。

キリシマツツジの保存活動を

問 本市のキリシマツツジに関する活動の現状はどうか。

答 現在、保存活動は愛好者によって行われており、本市は認知度の向上を図るため、開花時期に



国分シビックセンター西側入口に
植栽したキリシマツツジ



詳しくは「しほ」で

より安心して子どもを産み育てられる環境づくり



たなか なつこ
田中 紗弥佳 議員

問 母子保健情報の電子化について、国の方針を踏まえ、本市において実効性ある活用を進めるための今後の計画はどうか。

答 国は母子保健DXを推進し、情報連携基盤の整備や電子母子手帳の検討を進めている。本市においても、国の方針を踏まえ、利便性向上に向け段階的にシステム改修を進めていく。

問 母子健康手帳アプリ「きりっこ」について、導入目的、登録者数や利用状況、費用、現在の活用状況の評価はどうか。

答 「きりっこ」は、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援と情報提供



妊娠から出産、子育てまでをフルサポート

霧島市 母子健康手帳アプリ

きりっこ

by 母子モ



詳しくは「しほ」で

343名の一律勤務時間カットの早急な見直しを



やまぐち ひなみ
山口 仁美 議員

問 令和8年度から会計年度任用職員の勤務時間を7時間へ短縮する方針について、働き方改革との整合性や見直しの理由、フルタイム化の検討は必要なかったか。また、対象者や減額の影響、職員的生活や意欲、業務負担や人材確保への影響はどうか。

答 勤務時間の見直しは、国の指摘や通知に基づき実施したもので、業務の効率化を前提に1日7時間とした。フルタイムへの切り替えは行わず、業務効率化や分担変更を前提とする。収入への影響は認識しているが、業務改善やワークライフバランスの推進につながると考えている。今後も実態把握に努め、必要な対応

問 令和8年度から会計年度任用職員の勤務時間を7時間へ短縮する方針について、働き方改革との整合性や見直しの理由、フルタイム化の検討は必要なかったか。また、対象者や減額の影響、職員的生活や意欲、業務負担や人材確保への影響はどうか。

答 今回の見直しでは、学校運営に支障が出ないよう各学校長にソフト例を提示し、業務効率化を依頼している。教育施策との整合性の検証は行っていないが、教員の負担が増えないよう業務の精査と効率化を進めていく。



詳しくは「しほ」で

持続可能な墓地運営体制のあり方を



くぼ たかひろ
久保 史陸 議員

問 管理者不在墓地の現状はどうか。

答 共同墓地の管理のため所在地や管理者等を取り戻している。状況を把握した場合、新たな管理者を選定し届け出るよう指導しているが、成り手不足等で決まっていな

い共同墓地も存在している。本市の共同墓地は現時点で553件、うち管理者不在墓地は29件である。地元自治会等に対し管理者選出の協力を依頼している。

問 手続きに係る支援や管理代行など救済措置を講じ、持続可能な運営体制を構築すべきではないか。

答 改葬等の手続きには

隼人駅東西自由通路の整備状況は



たかひろ
竹下 智行 議員

問 隼人駅東西自由通路はいつから利用でき、どのような効果があるか。

答 東西自由通路は令和8年3月末に完成予定だが、駅舎や広場へつながる歩道の整備を経て、同年秋季に供用を開始予定である。

問 東西自由通路の開通と東口駅前広場の整備により、駅東西の往来や公共交通の利便性が高まり、駅西側の既存商店街と駅東側の新商業業務地との交流人口が増加し、駅周辺地区の活性化につながると考えている。

問 朝夕の通勤・通学時問帯の見次踏切の渋滞に

答 朝夕の通勤・通学時問帯の見次踏切の渋滞に

問 対し、抜本的な解決策としてアンダーパス化を計画・検討できないか。

答 アンダーパス構想は、平成18年度から事業化に向け関係機関と協議を進めていたが、地元の理解を得られず断念した経緯がある。

問 対し、抜本的な解決策としてアンダーパス化を計画・検討できないか。

答 アンダーパス構想は、平成18年度から事業化に向け関係機関と協議を進めていたが、地元の理解を得られず断念した経緯がある。

問 対し、抜本的な解決策としてアンダーパス化を計画・検討できないか。

答 アンダーパス構想は、平成18年度から事業化に向け関係機関と協議を進めていたが、地元の理解を得られず断念した経緯がある。

天降川の樋門と排水機場の運用は



かうやま しょうご
香山 二郎 議員

問 天降川に複数箇所設置されている樋門と排水機場に関して、増水した際の手順と判断基準は定められているか。

答 樋門と排水機場の運用については、各施設の立地条件や流域特性が異なることから、一律の手順書や判断基準を定めたものはなく、現場を熟知した地元の消防団が安全を最優先に操作を行っている。

樋門の開閉自動化は

問 大雨による増水時の樋門操作は危険かつ重労働で担当者の負担が大きいため、樋門の開閉自動化等、担当者の負担の軽減を検討する計画はないか。



姫城2号樋門と建設中の排水機場



詳しくは「しほ」で